

神奈川県立鶴見高等学校

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

1 学校のミッション

- 全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 校是「文武両道」「自主自立」、校訓「探求 真善美」の具現化に向けて、学校の教育活動全体を通じて豊かな人間性・社会性を育み、社会に貢献できる人材の育成に取り組む。
- 確かな学力の育成に向けて、基礎的・基本的な知識・技能の定着とそれを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力や、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育むよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて不断の授業改善を進めるなど、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

校是「文武両道」「自主自立」の精神に基づき、校訓「探求 真善美」の具現化し、学力向上、部活動・学校行事、キャリア教育を核とした質の高い教育活動に取り組み、将来、社会で力強く生き抜くことができる人材の育成を目指す。

- ◇ 確かな学力の育成に向け、主体的に学びに向かう力、自ら課題を発見し解決しようとする力を育成する。
- ◇ 全ての教育活動を通じて、豊かな人間性・社会性を身に付け、これからの時代に求められる資質・能力を育成する。
- ◇ 個々の生徒が将来のあり方、生き方について考え、その具現化のための進路実現を図る。

「Challenge and Change 『?(なぜ)を!(できた)にかえて、未来を変える。』」を合言葉に生徒、職員が一体となって取り組む。

3 計画策定時点での課題

- 授業に取り組む意欲は高いが、予習・復習を含む家庭での学習が乏しく、主体的に学びに向かう力の育成が課題である。
- 「知識・技能」を習得し、それらを活用した「思考力・判断力・表現力」の育成に向け、組織的に授業改善に取り組んでいるが、生徒個々の探究心を高める学びの充実に課題がある。
- 体育祭や文化祭など学校行事や生徒会活動が盛んであるが、生徒の社会性や豊かな人間性の育成の視点から、内容の充実、活性化を一層図る必要がある。
- 学習や進路選択、人間関係の構築など高校生活全般にわたって悩みや課題を抱える生徒が増加している。また、自転車乗車やSNSに係るトラブルなどに見られるように、社会の一員としてのモラル・マナーの育成、人権意識の向上に課題がある。
- 国公立大学や難関私立大学を第一進路希望としながら、安易な科目選択をしたり、途中であきらめ第一志望先を変更する生徒が増えている。
- 保護者・同窓会と一体となった様々な取組みが見られるが、地域等の教育資源を活用した取組みや連携・協働した取組みの拡充が必要である。
- ICTの利活用について一部の職員に依存しており、知識・技能を職員が共有し、学校全体として活用度を高める必要がある。
- ホームページの更新が特定の職員の業務となっており、なかなか情報の発信が進まない。より効率的に本校の魅力の発信に努めていく必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に基づいた教育課程を策定した上で、カリキュラム・マネジメントに取り組む。 ・組織的、体系的な授業改善をとおして生徒の学びに向かう力や探究心を高める。 ・学校行事や生徒会活動等を通じて、生徒の主体性・リーダーシップを育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえ、課題に自ら疑問に持ち、解決しようとする探究心を育成する授業改善に取り組む。 ・教育課程研究開発校（新たな学習評価に係る研究）として研究開発を通じて自ら学びに向かう力を育成する。 ・生徒主体の学校行事や生徒会活動を一層充実させる。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒との確かな信頼関係に基づいた生徒理解に努め、基本的な生活習慣の確立、社会性を育成する。 ・生徒一人ひとりの実態や特性に応じたきめ細かい支援の一層の充実を図る。 ・部活動や学校行事等を含め、生徒が自主的・主体的に活動できる教育環境の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻をしないなど基本的な生活習慣の確立に向け、教職員が一体となって取り組む。 ・課題を抱えた生徒に対する気づきと情報を共有し、必要に応じて外部関係機関につなげるなど解決に向けて取り組む。 ・部活動への加入率を高めるとともに、ボランティア活動など生徒個々の活動を支援する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの社会的自立に向けキャリア発達を促進させる。 ・将来に見通しを持たせ、生徒が希望進路の実現に向けた進路指導・支援の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験や各種検定・資格試験を通じて、自らの資質・能力を獲得し、自己肯定感を高める。 ・面談等を通じて生徒一人ひとりの進路希望の実現に向け、支援・指導の充実に取り組む。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの仕組みを通じて、地域、同窓会等の外部の教育資源を有効に活用する。 ・外部への情報発信を積極的に展開し、開かれた学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内外の人的、物的資源を活用し、校内の活動の充実とともに地域社会に貢献する活動の充実に取り組む。 ・本校の教育活動について、保護者や地域、中学生に対してホームページ等を活用して積極的に情報発信を行う。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての職員が学校教育目標を目指し、効率的で効果的な教育活動の実践に取り組み、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。 ・職員の働き方改革を推進するとともに、事故・不祥事の未然防止に努め、県民から信頼される学校づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の管理体制を整備し、安全・安心な教育環境を提供する。 ・生徒と向き合う時間の確保に向け、業務改善に取り組む。 ・風通しの良い職場環境を醸成するとともに、事故防止研修会などを通じて事故・不祥事の未然防止に取り組む。